

“わたし”が未来をつくる

No. _____

ベトナム／ブイ ティ フォン クイン

世界が平和になることってあるのでしょうか。
最近ではテレビや新聞では当たり前のように毎日、テロや争いのニュースが報道されるようになりました。
それを見ると、私の心はとても不安になります。
私の国でのベトナム戦争、イラク戦争、その後のテロとの戦い、今も世界中で、ずっと戦争が続いています。

世界には1万5千発もの核弾頭があるとされています。
少し前、日本の上空を危険なものが飛んで行きました。
飛んで行ったからよかったですけど、飛んで来たら大変なことでした。
一見平和に見える日本にも戦争の危険はあります。

でも、私はつい最近まで、世界平和なんてあり得ない、とっていました。
世界平和のような大きなことではありませんが、母国のベトナムについて考えるたびに、いつも心に、もやもやしたものを感じていました。
国民の生活はなかなかよくなりず、多くの人が目先のことに精一杯で、自分と家族のことだけを考えて生活しています。
人々は国の政治や世界のことなど考える余裕がありません。
世界平和以前に、人と人との信頼関係が崩れて、とにかくお金、お金という世の中になっているのです。

でも、そんなとき、たまたまテレビで『世界平和記念日』について考える番組を見ました。
実は私はテレビを観るまで、この世界平和記念日とはどんな日なのか知りませんでした。
第一次世界大戦の終戦を記念し、11月11日を「戦うことはもうやめよう」という主旨で制定された記念日だそうです。
最初は、日本語の勉強にもなるし、ちょっと話を聞いてみようかな、と思うぐらいでした。
しかし、この番組の出演者たちは真剣に世界平和について話し合っていました。
核兵器をなくすための提案、争いはどうすればなくなるか、宗教と政治、子どもたちに戦争や平和について伝えていくことなどを政治家ではなく、普通の人たちが真剣に考えていたのです。

世の中には世界が平和になったらいいと考えたとしても、それは難しいことだと諦めてしまう人は多いと思います。
私などは、なにも考えもしないで、初めから無理だと思っていたのです。
でも、その人たちはその困難なことを諦めずに考え続け、行動しようとしていました。
『すごいなあ！』と感じました。

そして、もしかしたら自分にも何かできるのではないかと思いました。
私たちは平和な時代に生まれてきて、戦争の恐しさや苦しさを知らずに生活をしていま
す。
ですから、世界平和は口先だけにせず、みんなで行動すべきだと思います。

『ほんの一人の考えや行動も大きな世界と繋がっている。』
つまり、いいことも悪いことも一人の“わたし”から始まっているのだということに気
がついたのです。

私たちは、今すぐには戦争や紛争を止めることもできなければ、貧しい国を豊かにする
こともできません。しかし、世界には子供達の未来のために国境や年齢や民族を超え
て、つながっている人たちがいます。

私もその一員として多くの人とつながり、その輪を大きくしながら、^{いま}現在と未来につな
がる一歩を踏み出したいと思います。

ご清聴ありがとうございました。